

多賀城高等学校教育方針・教育目標

建 学 の 理 念

繰り返しのきかない唯一回限りの人間教育において、生徒一人ひとりの能力の十分な成長を図り、生きる目的と喜びを得させることが教育の根本である。

われわれ教職員は、この仕事を通して国民全体に奉仕する職分と責任を担っていることを深く自覚し、この職務を完遂することに人生の意義を見いだすものである。

また、我々の学園を自らの手で創造することに喜びと感激を覚え、ここに新しい校風の確立を期するものである。

このため次の事項を定めて経営の方針とする。

- 1 教職員相互の和を旨として学校経営の厳正を期するとともに挙校一致の体制を整える。
- 2 教職員の研修意欲をたかめ、教育観の確立と指導能力の向上を図り、学習指導・生活指導の万全を期する。
- 3 施設設備ならびに環境の整備に努める。

教 育 方 針

21世紀を担う人物の育成という観点に立って、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性、強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献できる人物を育成する。

このため次の三つの教育目標を定める。

教 育 目 標

- 1 知性の伸長(さとく)
自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追究し、常に広く調和のとれた教養を身につけるよう努める。
- 2 人格の尊重(ゆたかに)
正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。
- 3 心身の健康(たくましく)
心身の健康こそは全ての生活の根源である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靱な体力を身につけるよう努める。

令和6年度 多賀城高等学校 学校経営方針

I 経営方針

21世紀型学力を培い、防災・減災・伝災学習のパイロットスクールとしてSSHやユネスコスクールに取り組み、「新しい価値を創造する力」「多角的に考え表現する力」「問題解決のために果敢に挑戦する力」を育成し、社会の使命に応える学校を目指す。

また、教育の質を維持しながら、業務の効率化を図り、働き方を改善することで職員個々が自らの力を発揮できる環境をつくる。

【重点目標】

1 SSH 事業の推進

- ・コンピテンシーベースのカリマネ実現
- ・理数系教育の魅力向上
- ・普通科事業の充実
- ・成果の発信

2 学習・進路指導の充実

- ・新学習指導要領に則った生徒の確かな学力の向上
- ・明確かつ適切な進路指導により自走できる学習習慣の確立
- ・模試データ等の積極活用による的確な学力分析をもとにした授業改善

3 生徒指導・教育相談体制の充実

- ・コミュニケーション力と礼節の指導による社会性の向上
- ・規範意識、自尊意識の涵養に努めた健全育成
- ・多様化する生徒へのきめ細かな支援
(コーディネート、アセスメント、プランニング、保護者との連携及び状況把握
SC・SSWの活用、中学校との連携、経過の記録等の体系化)

4 防災・減災・伝災教育の充実

- ・危機管理の徹底
- ・防災・減災・伝災活動に係るパイロットスクールとしての発信と全校体制構築
- ・多賀城高校が担っている社会的役割の共通認識と各種要請への対応

5 ICT 教育環境の充実

- ・タブレット端末の有効活用
- ・教員の活用スキル向上
- ・ICT教育推進校としての発信